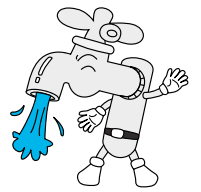
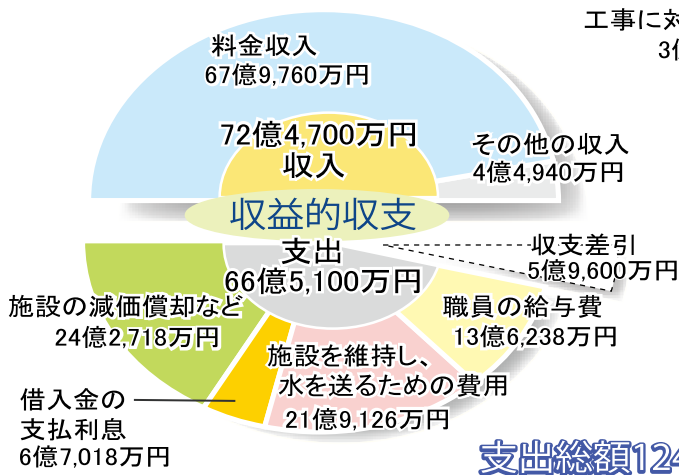


平成25年度 水道事業会計予算

平成25年度の予算と主な事業
についてお知らせします。
今後とも、効率的な事業運営に
いっそう心がけ、市民サービスの
向上に努めます。



ご家庭に給水するための収入支出



水道施設を整備・拡充するための収入支出



支出総額124億2,400万円

[予算額は消費税を含んでいます]

概要

水道料金収入は、使用水量の減少傾向が続くとの見込みから、前年度当初予算と比較して1億4,520万円減少するという厳しい見通しとなっています。

収益的支出予算、資本的支出予算を合わせた予算規模は、前年度当初予算に比べ0.9%、金額にして1億900万円減の総額124億2,400万円となりました。これは、高金利借入金繰上償還額がなくなったことなどによるものです。

主な事業

- 送配水施設整備事業 3億3,390万円
水量水圧の均衡化と増強を目的とした配水管布設(2.5km)などの施設整備をおこないます。
- 漏水防止対策事業 2億9,000万円
漏水の原因となる給水管の切替工事、漏水修理工事、委託による漏水調査(750km)など漏水防止対策をすすめます。
- 災害対策事業 30億1,650万円
針木浄水場と九反田配水所を結ぶ送水幹線二重化、春野町森山配水池への緊急遮断弁設置(7基目)、国分川水管橋の耐震補強工事、配水池などの基幹施設の耐震化や、特に口径150mm以上の基幹管路耐震化(19.3km)については大幅に予算を増額し、災害対策をすすめます。
- 増補改良事業 10億3,290万円
平成25年度から3年間の継続事業である旭浄水場(浄水処理施設)更新、針木浄水場などの施設整備、布設替・移設による配水管の整備をおこないます。
- 簡易水道施設改良事業 1億2,086万円
鏡小浜簡易水道の施設改良工事(平成25年度完了予定)などをおこないます。
- 水源地域対策事業 1,020万円
水源かん養林取得、水のふるさとフェスティバルなどの水源地域との交流事業をおこないます。

キーワード 収益的収支と資本的収支



水道事業会計の予算は、「収益的収支」と「資本的収支」の二本建て予算となっています。

「収益的収支予算」は、当該年度一年間の経営活動に伴い発生する水道料金等の収益と、それに対応する費用が計上されます。費用には、人件費、物件費、動力費、支払利息等のように現金支出を伴う費用のほか、減価償却費のように現金支出を伴わない費用もあります。この「現金支出を伴わない費用」に相当する額は、収益的収支の黒字額(純利益)とともに内部留保資金として水道局内にプールされます。

「資本的収支予算」は、支出の効果が次年度以降におよぶ費用(水道施設の建設改良費など)や、長期の負債にかかる支出(企業債元金償還金)などと、これらに対する財源が収入として計上されます。一般的に支出額が収入額を上回るかたちになりますが、この不足額は収益的収支で発生した内部留保資金で補てんされることとなります。また、建設改良費の財源として国などから借り入れた企業債の元金・利子の支払は、その施設の恩恵を受ける将来の水道使用者の水道料金で返済することとしています。

将来への投資である建設改良(資本的支出)を過大にすると経営を破綻させることとなり、逆に抑制しすぎると水道の安定供給が将来滞ることとなるため、バランスをとった予算としています。